



第3号 平成8年4月30日

発行

財団法人富山県アイバンク

富山市杉谷2630

富山医科薬科大学眼科内

TEL (0764) 34-5710

発行人 井村 東司三



(第一回献眼運動富山県民大会記念講演「ドラマと人間」ジェームス三木氏)



ご挨拶

財団法人 富山県アイバンク

理事長 井村東司三

昨年10月8日富山県民会館大ホールに於いて実施された『第一回献眼運動富山県民大会』が一、〇〇〇余名のご参加の下に盛大に執り行われ、啓発普及に多大な成果を挙げましたことに對し、心から御礼と感謝の辞を申し上げます。

Rの一石二鳥の成果を挙げていると思います。

お陰で昨年4月から本年3月までの一年間で16名の尊い献眼を頂き、初めて2桁の成績を得ました。登録者も一、二九八名と開設以来の累計は、一四、〇〇〇名に達しました。賛助会員に關してもライオンズクラブの会員各位が積極的に推進して頂いていることに對し深く感謝しております。

角膜移植によって光を取り戻された方々の喜びの聲に接する時、この運動の意義を再確認しますが、現在、移植を待ち望んでおられる方々のことを思うと、一人でも多くの献眼登録をお願いすることにもっと力を盡さねばと強い使命感と責任を感じるのであります。

富山医科薬科大学眼科の早坂征次教授は角膜移植について『眼球提供者とその家族の厚意なしには行えない手術です。患者のみならず術者も関係協力者に深い感謝をこめる手術です。』と説いておられます。

重ねて献眼と献眼登録にご理解とご協力をお願い申し上げます。

募金の設置もライオンズクラブ関係を始め、チックタックの46件の加盟店、各店などのご協力のもとにP

重ねて献眼と献眼登録にご理解とご協力をお願い申し上げます。



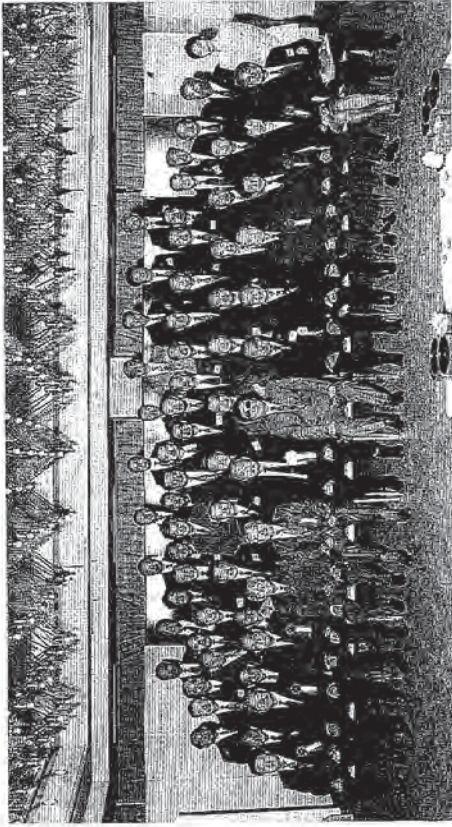
(眼科Q&A 富山医科大学眼科 早坂征次教授)



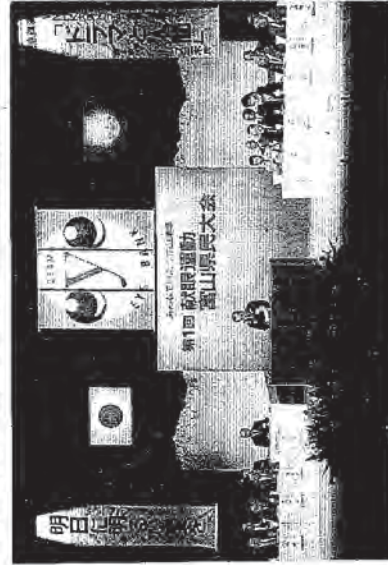
(暖かい志を持った人たち)



(ジェームス三木氏の講演に感銘と笑い)



(ジェームス三木氏・家高ガハナー・朝日本眼医銀行協会真鍋三理事長・来賓・スタッフのみなさん)



(井村理事長挨拶)



！(献眼者ご遺族へ 感謝状贈呈)

(ご協力頂いたライオンズクラブへ感謝状贈呈)

第一回献眼運動富山県民大会

開催日時 平成7年10月8日(日)

場所 富山県民会館大ホール

主催 (財)富山県アイバンク

共催 ライオンズクラブ国際協会 334-D地区

献眼者ご芳名

平成7年9月

故佐藤 克司様 (五十三才)

10月

故鈴木富喜子様 (七十六才)

11月

故巖寺 高野様 (九十五才)

故河野 貞二様 (五十七才)

故中西清兵衛様 (九十才)

12月

故塚本 智栄様 (六十八才)

故重原 研一様 (六十三才)

故喜多万右衛門様 (七十五才)

平成8年1月

故岡本よしゑ様 (八十二才)

故横山たつ子様 (八十三才)

4月

故早川 久信様 (九十一才)

謹言いりませう

伊原 幸子

理事長 井村

献眼者ご遺族の手記

この世で最後の最高の奉仕

塚本 實 (高岡市)

生きとし生ける者すべては必ずあの世とやらへ行かなければならない。そんなあたりまえのことは誰しもが日頃漠然と意識はしているもののある日突然、悪性腫瘍と診断され死を告知された場合はたして従客としてあの世へ行けるだろうか？ 信仰心があれば安らかに往生できると説く人もありますが、私は宗教や教育だけで安らかな旅だけはできないと考える。

に死を告知された。残り少ない生存時間せめてこの世の終りにと住なれた自宅だと決断し、四六時中偽りの励ましと笑顔を浮かべながら看護を続けた。

昨年未、68年の生涯を終えた妻の在宅看護を通じ、死と対面しながら周囲の人々に知られまいと、ことさら明るい仮面を保ち続けた。その表情から色々と考えさせられ又、教えられた。

看護婦による日々の点滴と主治医の往診、見舞客の涙ぐむ表情やら作り笑い等々からやがて自己の命の限界を知ることになり、時折ベットから起き上り庭を眺めながら考えこむ日が多くなってきた。

うだるような暑い夏の日、食欲が進まないとおちこちの病院をめぐるT病院で破局的な診断を受け直ちに内臓摘出手術、そして家族

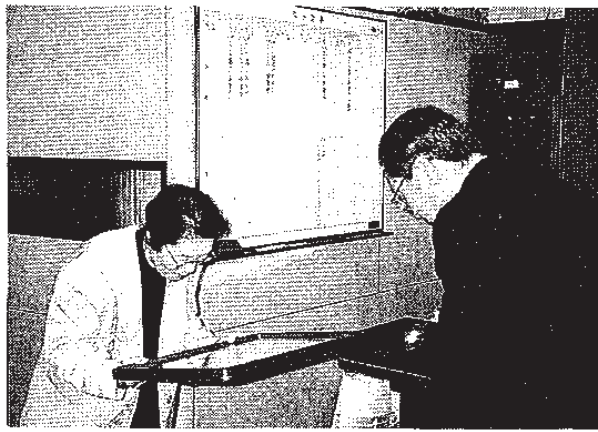
そのうち一心に写経を始めた。秋も過ぎ命の限界が迫りくる寒い冬の夕暮れベットから抜け出し応接間の陳列ケースに収めてある家族全員の献眼登録証をじーといっまでもいつまでも見つめ、迫りくる死と対決しながらやがて自己の運命を素直に受け入れたのか、付添の家政婦に風呂に入りたいと、そしてゆっくり湯につかりその夜は

食事もとらず薄化粧をしながらベットに入った。その後姿を見て強く胸を締めつけられ、一時間でも、一分でもこの世にと神佛に手を合わせ、門前で待っている死神に向かつて、もうちょっとでもよいから待ってやってくれないかと心から合掌した。お迎えの予定日がすぎた翌々日の早朝微笑ながら冗談でもいうように大きな声で「お父さん随分お世話になりました。親切にしてもらって有難う」と繰返し合掌した。その涙にうるむ奥の目がすばらしく美しく輝いていた。そして三時間後、主治医、看護婦、肉親、友人等々、多くの人々に見とられながら終焉を迎えた。

このような妻の死は純粋な信仰心だけでなく、やがて野辺の煙と消えはてるはずの五体の一部が暗黒の世界に苦しむ人々に光を与えながらその中で自分も生き続けることができるのだと確信を得たからこそなんの苦痛も伴わず合掌しながら微笑ながら天国へ行けたのではないかと理解している。

厚生大臣
感謝状贈呈

感謝状贈呈



厚生大臣感謝状伝達式

献眼であったこと、そして思うこと

野村 謹吉 (福光町)

昨年十月、私の義母(妻の母)が七十七歳を一期として〇病院で亡くなった。十年前に献眼登録を行っていたので、家族の了解を得て、危篤状態のときに県のアイバンクに連絡して角膜提供の仕方をあらかじめ教わっていた。義母が入院していた〇病院は他県で多少不安があったが、摘出手術するK病院に連絡を入れておくとのことであった。

義母が病に勝てず命運が尽きたのは、土曜日の早朝であった。すぐさま私は、「献眼登録してあるので眼球摘出手続きを取りたい」とK病院に電話を入れた。ところが、

「今日は土曜日でお休みだから、月曜日にしてください」との返事。一瞬、耳を疑った。

「いや、献眼登録ではなく角膜の提供です。数日前に眼科のほうへ連絡が入っていると思いますが、とにかく眼科と連絡が取れないでしようか」

「そんなこといまでも、今日は病院がお休みだから……」私は絶句した。何ということだ。県でいちばん信頼されている大病

院であるというのに。私は気をとりなおし、

「当直の先生がいらっしゃるはずですから、その先生にこの電話をつないで頂けないでしょうか」

と丁寧に懇願した。ようやく当直の先生に角膜の提供者であることを説明し、「時間を争うので(摘出は六時間以内が理想とされている)、一刻も早く眼科と連絡を取って頂き、〇病院まで来てほしい」と告げた。

「分かりました。すぐに眼科と連絡を取ります」そんなことがあって、四時間後に無事眼球の摘出手術が行われたのである。しかし、この四時間にも問題があった。入院していた〇病院では過去に献眼の経験がないことから、献眼をあまり理解してもらえず、摘出が遅くなるなら遺体も自宅に運んでもらいたいと言われた。K病院に最初の電話を入れて医師が到着するまでの三時間がたいへん長く感じられ、K病院にもう少し早く、もう少し早くとお願いしたのであった。私は情けなかった。献眼についてはすべて私が連絡をとっていたので、このてん末は家族に言え

なかった。すべて順調にことが運んでいるように振る舞った。亡くなった日が土曜日であったことや、電話を取ったのが献眼について教育を受けていない受付嬢であったことなど、確かに不運であったと思う。が、私は献眼運動への一般の認識がまだまだであることを知った。

救いは、葬儀が厳粛に盛大に行われたことである。富山県アイバンク理事長・ライオン井村東司三(三三四一D地区名誉顧問)と家高二郎三(四一D地区ガバナ) (ライオン村上明が代行) から弔辞と感謝状の贈呈がゾーン・チェアマや会長、幹事ら多くの会員の見守るなかで行われた。ライオンズクラブが献眼運動に取り組む姿を目の前にして、私をはじめ遺族や親戚も静かな感動を覚えた。私は、会長を経験し献眼運動に取り組んだ。だから、義母の意志を成就するお手伝いができた。だが、私がライオンでなかったら、果たしてどうなっていたのだろうか、ふと思っただ。

これからも献眼、献腎、骨髄登録を推進しなければならぬことは、もちろんである。が、さらに言えば登録から提供へとスムーズにことが運ぶよう、関係者を啓蒙する努力も大切ではないだろうか。

(THE LION 2月号より転載)

献眼運動ミニ大会

市町村又は自治会、各種団体で献眼運動の企画実施をして下さい。

ご助言、ご協力いたします。アイバンク事務局へご連絡ご相談下さい。

開眼者の手記

改めて反省、そして感謝、感激

O・H (富山市)

昭和60年12月、18回目の誕生日を迎えた冬、私にとって忘れる事のできない悲劇が起こりました。交通事故です。その事故により私の右眼は、眼球破裂、角膜混濁、失明寸前の状態でした。緊急手術、約2ヶ月の入院、5年間の通院により視力は、コンタクトレンズにより0.5まで回復しました。若い頃意気がっていた私に天罰が下ったのでしょうか。

ところが、順調に回復していた右眼にまたもや悲劇が起こりました。突然、眼の前が真っ暗になり、おかしいと思い、至急眼科受診。網膜剥離と診断され、またもや緊急手術、3週間の入院となりました。回復していた視力が低下し、視野も狭くなり以前よりも見にくくなりました。その後、眼科通院を続けていましたが、状態はまっ

たく変わりませんでした。そんなある日、以前よりすすめられていた角膜移植の話が出ました。若いうちにした方が良いと言われ、不安もありましたが、移植手術の手続きをしました。その後、半年間待ち、昨年暮れに手術をしました。

手術後、心配していた拒絶反応もほとんどなく現在では、視力は0.3まで回復しています。手術を受けて本当に良かったと思います。

献眼して下さった方に心から感謝し、私も同じ様に苦しんでいる人の為にアイバンクに登録しようと思っています。「物が見える」「見える」という当たり前の事に今、改めて感謝しています。

最後になりましたが、先生方、看護婦さんお世話になり、ありがとうございました。

角膜移植の実感を覚えた小生

花島 健郎 (富山市)

午前9時半、電話に私が出ました。処「富山医薬大ですが、本人さんですか」とのお尋ね。「今、花島さんに移植の角膜が手に入り、いかがでしょうか」との事です。私は突然のことでしたが先生方お願いしてある事もあり、先生方のお世話に成った次第です。

小生2回目の大手術でもあり、これ以上視力がつくなんて思わなかったのですが並々ならぬ諸先生方の御精励が実をむすび、喜にいたったのです。

眼たいをはがし、岡田先生が「度うだね」とおっしゃいまして「左目は何か急に窓辺に出た様な感じでした。」と言いました。私は本当に嬉れしく感泣に到ったのです。小生いまだ若く今年、65歳、まだまだ世の中のために働かねば成りません。本当に有難うご座い

ました。

振り返り益々医学進歩、そして丁寧な看護等、又献眼者さんの霊を弔いその御遺族の方々へ萬禮を申し述べる次第であります。

又、武田先生、豊田先生、新田先生、小野津先生と御厚謝申し上げます。深く御禮申し上げる次第であります。

登録者の皆様へお願い

転居などによる住所変更などがあつた場合には、アイバンク事務局へご連絡下さい。

募金にご協力下さい。

ブルーのアイバンク募金箱はライオンズクラブ、チックタック各店、眼科医院等にあります。

〈連載〉

眼のはなし

日本網膜色素変性症協会

—ライオンズと眼、もう一つの関わり—



富山医科薬科大学眼科学教室

助教授 山本 修一

各地のアイバンクが、ライオンズクラブ（L.C.）の御支援により、活発な活動を続け、多くの患者を助けておりますが、眼科でL.C.の御協力を頂いているもう一つの活動に日本網膜色素変性症協会（JRPS）があります。

網膜色素変性症。聞き慣れない病気かもしれませんが、眼球の後部にある光を感じる膜、網膜が遺伝性の病気に侵され、徐々に視力を失っていく難病の一つです。およそ三〇〇〇〜五〇〇〇人に1人の割合で病気が出現します。網膜の遺伝子に異常があると発症することがわかってはいますが、病気のこまかな仕組みや、有効な治療法はまだ不明なままです。この病気は世界中にみられ、多くの患者さんが失われゆく視力に怯え、薬をもつかむ思いで不確かな、そして時には危険な治療法にも飛びつい

ておられます。このような病気に立ち向うために患者さんと、専門の医師、研究者らにより、世界的な組織として国際網膜色素変性症協会が設立され、活動を続けていました。そして2年前、その日本支部としてのJRPSが、千葉L.C.の御支援により設立され、千葉大学医学部眼科に事務局が置かれました。設立して間もないJRPSですが、患者さんへの正確な情報提供、この病気の研究への援助などを目的に、活発な活動が始まっています。

富山県内にも、数多くの網膜色素変性の患者さんがいらっしゃいます。医薬大眼科では早坂教授以下、この病気に大きな関心を持って診療や研究にあたっています。現在には有効な治療法がありませんが、急激に進歩する医学により、一〇年後、二〇年後には、患者さ

んを救えると確信しています。JRPSの活動が拡がれば、いずれは各県に支部を設置して、きめ細かな活動が必要になる時が来

紹介コーナー

富山市栃谷、ちようど富山医科薬科大学のふもとに藤巻眼科クリニックがあります。院長藤巻篤子先生は、78年にこの地で開院されました。4人の娘さんの母であり、現在、富山医科薬科大学第2外科教授藤巻雅夫氏の奥様として医師、妻として歩んで来られました。また、篤子先生にはもう一つの顔があります。それは声楽家です。



ると思われます。このようなJRPSの状況にも御理解頂ければ幸いです。



網膜色素変性症のために高度視力障害にもかかわらず、モンブラン登頂を達成した声楽家の原久美子さんを師とし、歌に情熱をそいでこられました。90年には、富山県民会館で「藤巻篤子チャリティコンサート」を開催され、93年にはCD「永遠の愛」を発表しておられます。先生にとって歌とは何ですかとお訪ねしたところ、「心のオアシス」とのことです。一度、先生の生の歌声をお聞かせ願いたいものです。

（藤巻眼科クリニック）
富山市栃谷223

御芳志ありがとうございました。(敬称略)

■ 寄付者 ご芳名

(計3,711,052円) (平成7年9月1日～平成8年3月31日まで)

高岡LC			●ライオンズクラブ関係	
光ヶ丘病院	140,000円		ライオンズクラブ奉仕銀行	2,000,000円
山崎敬市	10,000円		ライオンズクラブ1R1Z	48,000円
高岡伏木LC			ライオンズクラブ1R2Z	48,000円
尾間 央	100,000円		ライオンズクラブ2R2Z	134,052円
山下和夫	50,000円		富山神通ライオネスクラブ	100,000円
鳥山 博	10,000円		富山ちゅうりっぷライオンズクラブ	50,000円
山 孝之	10,000円		大山LC	50,000円
牧 享	10,000円		大沢野LC	55,000円
今村吉太郎	10,000円		上市LC	100,000円
青木英勝	10,000円		滑川LC	46,000円
塚田敏夫	10,000円		魚津LC	50,000円
本林一己	10,000円		高岡古城LC	200,000円
若杉堅二	10,000円		となみ東LC	20,000円
深田清人	10,000円		富山LC	
高井逸郎	10,000円		富田高瀬会計事務所	100,000円
小杉LC			藤沢実事務所	100,000円
シンコー運輸倉庫有限会社	200,000円		富山西LC	
サンライズ株式会社	200,000円		町野実	10,000円
礪波LC			上市LC	
鈴木信一	50,000円		J Aアルプス農協	100,000円
眼科			魚津LC	
大城眼科医院	10,000円		(有)寺崎樹脂	50,000円
一般			黒部LC	
中村繁行	5,000円		中西電気工業(株)	50,000円

■ 賛助会員 ご芳名

(計2,937,000円) (平成7年9月1日～平成8年3月31日まで)

黒部LC	1口×1名	3,000円	●個人会員 (計1,797,000円)		
吉田重治			●ライオンズクラブ関係		
立山LC	1口×2名	6,000円	富山雷鳥LC	1口×1名	6,000円
翁 俊夫	高橋 守		太田 茂		
滑川有恒LC	1口×62名	186,000円	富山セントラルLC	1口×1名	6,000円
相川保幸	赤井 貢	飯坂 昇	原田俊夫		
飯坂 巧	板坂 修	伊東良二	大山LC	1口×2名	6,000円
上野 悟	梅原直元	大橋 優	花房紀行	城野勝信	
大倉幹順	大浦哲夫	片原静治	富山昭和LC	1口×2名	6,000円
金川一志	清河 満	菊 勝信	高田順一	片桐朝毅	

氷見LC

藤岡昭二	藤田政治	古野義久
荻原孝成	袴 一雄	濱下恵子
日名田与一郎	宝達初郎	星野栄治
一嶋正二	池渊清文	池永正嗣
井上二士夫	十二一郎	海下義則
片折重夫	角地孝義	海津憲次
京田仁一	小山幸俊	小林寛次
小林秀昭	小杉正義	久保健三
黒谷豊明	前 善三	真木靖博
万尾武市	松木次二	湊 晨
宮崎 明	宮下幸光	水口秀治
森 農朗	森越隆士	室田健次
長澤 隆	中川清行	中村鉄郎
中村國雄	中筋國雄	梨木佐満
新鞍 保	西森隆明	西川洋栄
桶家 寛	大石正徳	太田眞樹子
酒井利泰	堺 義晴	三ノ宮和八郎
新谷宗良	高嶋顕信	田中信夫
徳前精二	徳丸 進	釣谷 巖
渡辺 淳	谷内欣一	屋敷敏樹
山田源之助	山田真功	山口清二
頭川重雄		

高岡伏木LC 1口×39名 117,000円

廣田安夫	山下和夫	戸澤克行
牧 亨	広瀬捨勝	引網真明
苅米邦行	青木英勝	赤堀宗平
原田 寛	中村 弘	深田清人
山 孝之	中山勝儀	辻 一郎
鳥山 博	高井逸朗	笹島康隆
田 益久	中村嗣男	若杉賢二
堀田善十郎	尾間 央	吉野順作
塚田敏夫	本林一己	今村吉太郎
志甫明男	小柴 聰	大黒幸雄
吉井直敏	四日隆央	山崎義平
井出宝泉	古市猛広	関本正則
川合悦夫	芹原良明	山口 豊

新湊LC 78口 234,000円

小杉LC 1口×60名 180,000円

稲田勇三	伊勢茂夫	稲積 洋
池上栄一	市井秀一	上田晃道
大谷敦志	織田和夫	大坪 豊
表富士雄	海内 孝	片口 実

滑川有恒LC

黒田一雄	久保一成	窪田信康
斉藤洋一	沢田耿明	佐々木清隆
進士俊昭	鈴木光雄	千保一郎
高桑安夫	田添正弘	高田和弘
戸田昭一	中村真吾	中山伸夫
永原 誠	中島 博	野尻 功
長谷川宗之助	長谷川勉	早川征夫
疋田喜夫	檜谷陽也	広沢真治
広瀬敏幸	福田清明	法沢正栄
細岡重信	細川文博	堀辺久直
松井一成	松井信彦	水井駿輔
水口 浩	水野吉晴	八倉卷忠夫
山岸万人	山口文夫	山田弘男
山本容基	柚木一夫	吉田康昭
若林礼三郎	渡辺興三郎	金山彰夫
西尾公博	早川祐一	

入善LC 1口×2名 6,000円

吉田 昭 五十里茂

高岡LC 95口 285,000円

高岡古城LC 1口×54名 162,000円

伊勢豊彦	井上忠雄	関 孝一
吉岡隆一郎	宮岡敏之	金山嘉城
金森良弘	熊谷有弘	原野省三
戸佐孝信	江幡直幸	黒谷他津雄
黒田 寛	才高幸次	山本 毅
若井聡夫	若森征雄	十二町仁三
宿屋保雄	松井靖弘	松田 昇
上野宏芳	杉本繁機	清都慶介
西森祐真	脊戸田農作	川端三郎
早川 潔	村本勝夫	太田悦一
大越利行	大松松至	大沢安秀
大坪弘昌	谷内勝彦	田子 実
嶋津芳弘	嶋田 端	東海一正
藤川勝喜	板坂吉雄	富重清一
布谷省三	福井 豊	米原敬次
豊本光雄	本保正夫	矢留文雄
油谷恒雄	六土正男	鷺山浩一
澤田幸宏	澤田将稔	江尻修一

氷見LC 1口×73名 219,000円

青野全作	青野邦男	大門正瑞
道賀 匡	江幡勇一	江幡 実
越前庄一	益塚正雄	福田国夫

大門LC

豆川景克	道振義治	堀 秀夫
小谷宗昭	橋浦容一	稲垣三郎
となみセントラル	2口×3名	18,000円
横山征四郎	高島外喜夫	鶴巻弘文
	1口×63名	189,000円
稲垣憲一	河原貞雄	吉田末治
宮脇正秀	境 貞雄	橋爪 弘
橋爪征男	金子 豊	金堂久哉
熊野 清	熊野俊明	原野久夫
黒谷義雄	今井一昭	佐藤幸一
山崎 泉	山崎 勇	山崎喜作
山本宣幸	宗景 昭	小林 満
森川辰夫	石黒 稔	石黒栄吉
石川英一	太田 守	大島肇一
沢田力弥	竹部俊道	中川 彰
蔦 清	島美紀雄	得永 惇
鍋沢俊夫	鍋田信幸	米原 蕃
芳崎強誠	芳尾弘史	北川成美
堀田 隆	木田裕也	雄川洋一
流田範男	林 実	林 忠男
林 豊輝	鈴見友一	廣橋法胤
岡部昇栄	吉田 隆	五島辰夫
山田保博	寺井堅八	石黒康邦
浅田久直	大橋利則	大村 武
大野実留	幅田政次	本居宏一
林 修二	瘡師丈夫	冲 敬
となみ東LC	2口×3名	18,000円
宮村信弘	川辺晴久	堀 好信
個人	1口×5名	15,000円
五十里福美	尾山幸恵	城川文郎
網 美保子	高橋実千子	

小杉LC

川淵 清	片岡 優	木村正明
黒川康弘	黒川外喜夫	黒川浩正
下條俊雄	御後一夫	浦山哲郎
境 洋	坂田久夫	清水三郎
島 道雄	鈴木正信	須崎 勉
杉沢次郎	杉山義継	高橋 功
高島邦昭	谷内正立	高寺 進
竹内晶一	竹本幸雄	殿城 浩
中村 亘	中村邦男	中山和夫
中田繁吉	永森忠志	中山和夫
延沢泰明	西野正雄	野口勉宏
林 龍彦	長谷貞夫	藤岡洋保
政瀧 茂	前田直樹	宮内 修
宮原 敬	村中 隆	村 敏行
森永恭司	森田郁夫	山口重信
鍍塚和範	横山 登	中谷隆一
大門LC	1口×45名	135,000円
佐々木政則	開麻佐巳	位寄 喬
棚元勝治	大谷泰治	長原一夫
藤川洋作	鳥帽子田清	小川記生
鍋島哲也	山田昭二	橋本 忠
政井拓治	山田孝志	河合 宏和
山本修一	井波博文	川原和明
杉本昭良	藤坂和則	島田重太郎
高田 務	村中 光	蒲田 繁
前田忠信	松本隆義	道古伸夫
高橋賢治	中田 勉	黒川廣志
石川栄治	佐々木章	橋 道博
夏野元秀	青木 繁	渋谷清澄
上野邦夫	伊藤幸雄	徳永政文

大沢野LC	10,000円
富山昭和LC	10,000円
黒部LC	
桜井交通(株)	10,000円
入善LC	
(有)黒東衛生	10,000円
魚津LC	
(株)タカギシ	10,000円
滑川浦鉾	10,000円
高岡古城LC	
(株)三楽	10,000円
射水神社	10,000円

法人会員 (計1,140,000円)

富山雷鳥LC	
石尾磊三	10,000円
(株)岡田アート	10,000円
ともきや中村酒店	10,000円
(株)竹原工務店	10,000円
富山東LC	
(株)浦島	10,000円
富山セントラルLC	10,000円
富山神通LC	
富山県義肢製作所	10,000円
富山神通LC	10,000円

高岡中央L C (24口)	240,000円	高岡古城L C	
(株)片山製作所	30,000円	中村漆器店	10,000円
(株)竹中製作所	20,000円	(株)サイゴ堂	10,000円
ハリタ金属(株)	20,000円	(株)モトヨシ美術印刷	10,000円
第一物産株式会社	10,000円	(株)開進堂楽器	10,000円
株式会社岩黒製作所	10,000円	(株)釜吉商店	10,000円
(株)三輝	10,000円	(株)松崎商店	10,000円
(株)有家	10,000円	(株)富山クボタ	10,000円
伏木海陸運送株式会社	10,000円	(株)文化店	10,000円
高岡南L C (17口)	170,000円	(株)和田鉄工建設	10,000円
高岡伏木		オークス株式会社高岡支社	10,000円
(株)マルチアクセスカンパニー	10,000円	井村医院	10,000円
砺波L C		塩谷建設株式会社	10,000円
(株)ガスコムノムラ	10,000円	可西泰三	10,000円
となみセントラル		相互企画印刷(株)	10,000円
(有)山だや	10,000円	日興証券(株)高岡支店	10,000円
(株)熊野製作所	10,000円	高岡志貴野 (26口)	260,000円

(平成7年9月以前に賛助会費ご入金いただいた方はアイバンクだより2号に掲載してあります。)

富山L C			
高田耕三	高田 真	武内宗七	
谷村幸一	谷野亮爾	辻井正則	
上原敏雄	梅沢直正	碓井庸嗣	
若林 弘	矢郷仁康	山本英輔	
吉沢栄一	松本憲蔵		
小矢部L C 1口×48名			144,000円
嶋島良治	廣田 勇	林 三郎	
林 正夫	林 朝夫	福岡 修	
出合外明	新井文男	丸山由雄	
今村喜三夫	木林由紀	岩田 潔	
可部谷一成	掛田光弘	神島友次	
川嶋長兵衛	窪城邦夫	前田領一郎	
宮崎真紀子	水島喜作	向山欽一	
中川謙二	中村元昭	中西順一	
野村博司	野手 弘	大江喜一	
小倉正雄	小倉利正	大家啓一	
太田昭三	太田哲雄	坂田三男	
坂田 猛	島津雅俊	新 一成	
杉野正雄	砂田清光	須加清治	
砂土居武義	棚田 等	谷崎吉揮	
富田亮一	坪野喜彦	辻 章	
吉田興晴	柴田 巧	西野正一	

法人会員

富山L C 法人会員	
阪神容器工業株式会社	200,000円
(株)タイワ精機	100,000円
荒尾メディカルクリニック	10,000円
藤沢実事務所	10,000円
北日本工芸	10,000円

個人会員

富山L C 1口×95名		285,000円
秋間健一	青山 昭	荒尾正明
浅田 熙	朝日力三	藤井 侃
藤沢 実	大熊知博	福田政之助
福田友三	浜谷元一郎	長谷川真常
橋本正人	林 茂昭	姫田 俊
関 致頼	平尾旨剛	堀江秀雄
堀江一世	堀井 穰	堀田昌昭
五十嵐和夫	稲田徳平	稲垣義宗
泉野正人	金守世士夫	柏谷維敏
加藤拜音	河部外博	河口幸平
河合敦夫	河上 寛	小林全二
糺谷伸一	小杉照男	黒田善平
前田 敬	牧野新一	榎谷敏夫
増山佐兵衛	松田 幹	真木良基
三鍋敏一	南 一男	宮岸 武
森 治一	本村哲明	村 清
村家 博	村本 岸	永森 清
永森正秋	中田 博	中田之己
中川 昇	中村規久夫	中沖 豊
中山昭雄	野上 徹寄	野寄 勉
萩野勝一	尾島俊治	太田吉俊
押田洋治	尾山征一郎	佐渡秀則
斉藤文雄	斉藤 博	笹井徹也
笹山梅治	瀬川安一	精田隆芳
須垣純夫	砂子阪和夫	橋 正則
多田秀一	高井芳樹	高桑昌一
高見直樹	高崎英之	高瀬清春

(富山ライオンズクラブ、小矢部ライオンズクラブは4月に入ってから賛助会員の入会をいただきました。)

■ 募金集計

(計1,626,607円) (平成7年9月1日～平成8年3月31日まで)

富山ライオンズクラブ	104,903円	チックタック小杉歌の森店	8,071円
富山みなとライオンズクラブ	45,471円	チックタック国分浜店	14,182円
富山水橋ライオンズクラブ	17,083円	チックタック上佐野店	2,666円
富山南ライオンズクラブ	26,754円	チックタック笹川店	6,096円
富山東ライオンズクラブ	52,902円	チックタック清水店	31,686円
富山セントラルライオンズクラブ	5,776円	チックタック下村店	21,013円
八尾婦中ライオンズクラブ	22,519円	チックタック新湊作道店	8,584円
富山神通ライオンズクラブ	53,301円	チックタック新湊津幡江店	8,450円
富山西ライオンズクラブ	9,970円	チックタック大門店	4,726円
富山昭和ライオンズクラブ	3,811円	チックタック戸出店	6,927円
立山ライオンズクラブ	18,739円	チックタック中曽根店	2,964円
入善ライオンズクラブ	23,987円	チックタック西新湊店	16,740円
朝日町ライオンズクラブ	23,489円	チックタック野村第5店	7,669円
高岡ライオンズクラブ	17,477円	チックタック姫野店	9,596円
高岡南ライオンズクラブ	12,757円	チックタック氷見柳田店	11,873円
高岡伏木ライオンズクラブ	8,589円	チックタック伏木古府店	9,796円
新湊ライオンズクラブ	41,993円	チックタック若富店	20,683円
小杉ライオンズクラブ	29,865円	井村医院	50,633円
大門ライオンズクラブ	16,712円	大城眼科医院	30,000円
小矢部ライオンズクラブ	50,389円	医療法人ますだ眼科医院	15,263円
チックタック本部	4,906円	新・宝田眼科クリニック	1,035円
チックタック朝日町店	8,067円	桜町眼科クリニック	2,621円
チックタック岩瀬西宮店	8,705円	大角眼科クリニック	7,121円
チックタック魚津大光寺店	3,232円	石坂眼科クリニック	4,535円
チックタック魚津早月東店	7,300円	水木眼科クリニック	3,756円
チックタック大沢野町店	8,613円	片山眼科クリニック	2,489円
チックタック上赤江店	16,287円	大橋眼科クリニック	1,620円
チックタック上市店	12,476円	柴田医院	3,441円
チックタック黒部菽生店	3,581円	斎藤眼科クリニック	7,683円
チックタック五福店	5,985円	中川眼科医院	12,728円
チックタック小泉店	4,266円	山田眼科医院	3,068円
チックタック栄町店	4,938円	水野眼科医院	4,000円
チックタック下大久保店	11,415円	桜井眼科医院	2,833円
チックタックJA富山大学前店	6,386円	土田眼科医院	5,281円
チックタック豊田店	13,658円	越生眼科クリニック	13,227円
チックタック富山駅前店	23,306円	島倉病院	1,795円
チックタック富山古沢店	11,003円	桐沢医院(眼科)	10,000円
チックタック中川原店	7,843円	西田眼科医院	2,650円
チックタック針原新町店	8,509円	白井眼科クリニック	1,687円
チックタック富山二俣店	3,766円	山崎眼科医院	2,445円
チックタック本町店	14,750円	富山医薬大眼科	9,977円
チックタック本郷町店	15,422円	社保高岡病院	1,838円
チックタックルート41店	6,691円	富山済生会	10,122円
チックタック江尻店	11,839円	富山赤十字病院	3,294円
チックタック大島店	10,020円	あさひ総合病院	3,570円
チックタック大野店	10,320円	眼科桜井医院	2,165円
チックタック沖塚原店	6,668円	八尾総合病院	1,403円
チックタック小杉東店	17,072円		

アイバンク募金活動について

富山東ライオンズクラブ
EBK糖尿病教育委員長

山本 辰男

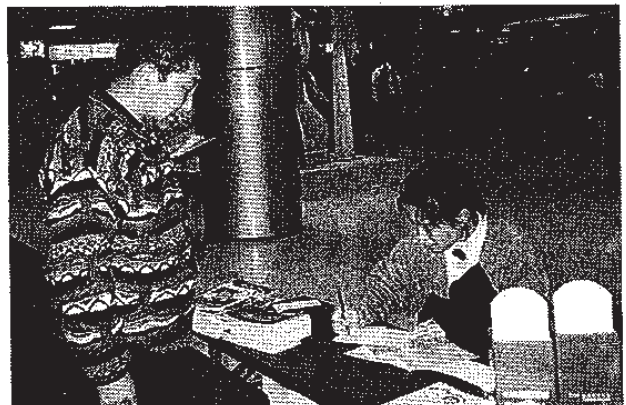
「あなたの献眼は、生きる希望の光になります。」をキャッチフレーズに富山県アイバンクが平成3年12月に設立され、翌年六月より業務が開始されて、今年で四年目を迎え献眼の普及啓発、眼球提供者の募集、登録、角膜提供の斡旋及び医療機関との連絡等の活

動を通じ着実に業績の向上に励んでおられます事に敬意を表します。当クラブも献眼活動に微力ながら協力できるよう、PR活動を中心に募金推進活動を進めて参りましたなかで、いくつかの事例をご報告いたします。

一昨年十一月十四日に富山アイバンク井村理事長のご出席を賜わり、チャーターナイト十五周年式典を挙行した際に、式典会場及び懇親会会場に二個の募金箱を設置し参加全員に手から手へと手渡しによる募金を募った結果一挙に一九四、五八八円の多額の資金を確保することができました。

今期L家高ガバナーの重点目標であるアクティビティのひとつにEBK及びLCIF運動があり、これに対し、林会長より積極的に活動するよう要請があり、当委員会も期待に縋べく熱心に取組み活動資金の予算化を図り、「アイバ

ンク登録にご協力ください。」の立て看板を製作し、今期六回の諸行事ごとに会場入口に設置し、ポールペン千本を提供者全員に配布しPR活動を行いました。特に本年二月十日アピタ店で実施した活動では、執行部委員会全員が午前と午後それぞれ分担し「冬の輸血用の血液が不足している。」現状を訴えた結果、献血者九十名、成分血液者六名、献眼登録者十一名、献腎者六名、募金一九、〇〇〇円余りと、予期せぬ成果があり、このようすをTV、新聞等に報道され多くの方々にP



アピタにて献眼登録運動

Rできたことは今後の推進活動に役立つものと確信いたしております。最後に、当クラブは本年結成以来十七年目でありますが、献眼運動を開始してから献眼提供者は一人もいませんが、仏故会員第一号として、L石崎様がなられ、井村理事長は献眼は「人生最後の社会奉仕であり、最高のお布施である」と述べておられる趣旨を機会あるごとに訴え続けて参る所存であります。



北日本新聞に掲載された活動の様子

アイバンク募金活動

小矢部ライオンズクラブ

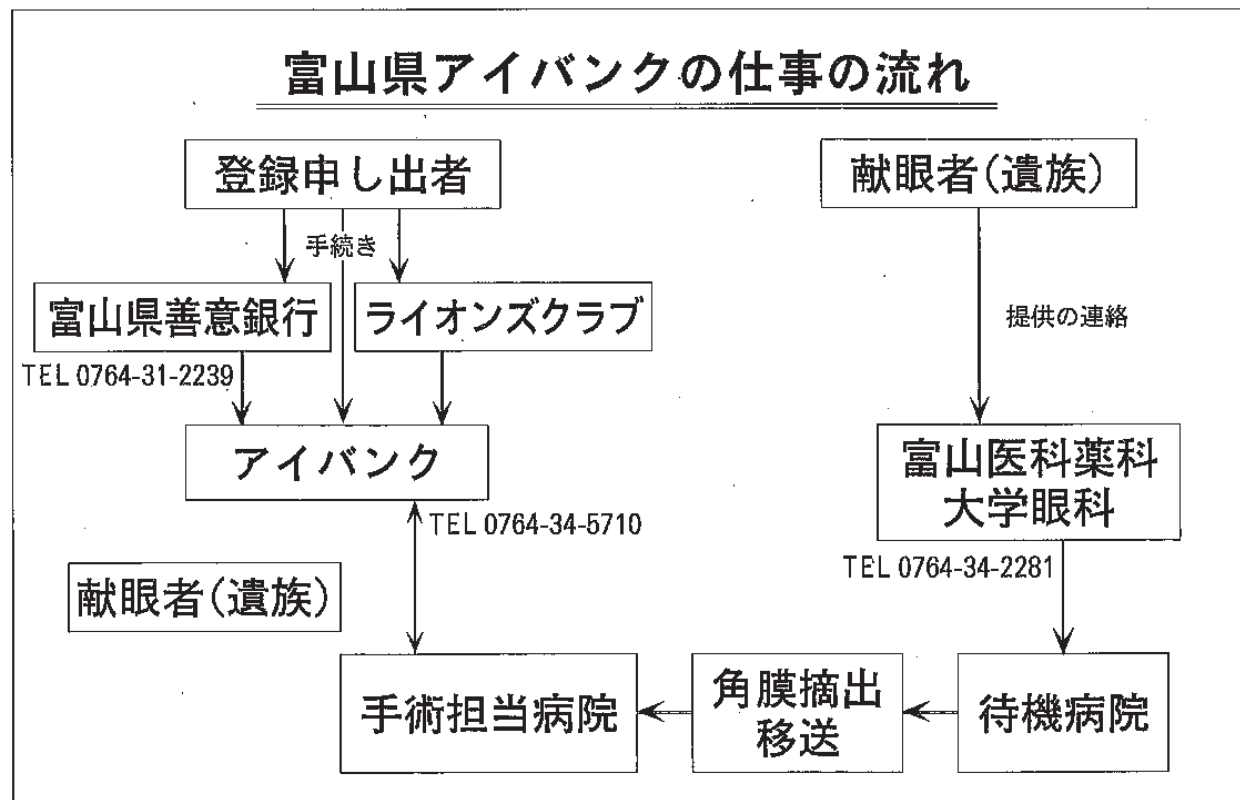
会長 嶋島 良治

「光という願いをかなえて下さい」

アイバンクの募金箱十個が当クラブへ平成六年十月に届き、その後、当時のリジョンチャーマン下条俊雄ライオン、地区E B K委員山口重信ライオンが当クラブへ見えられ、現状を切に訴えられ、帰られる時に募金箱にみずから書いていかれました。リジョン内十四クラブを回られたことと思いの頭の下る思いでした。また棚田前会長のライオンズクラブ奉仕銀行評議員会の数度の出席により、我々に説明やら、お願いやらで、そのことにより当クラブ会員が募金箱の真の理解と意識をもって、その月の第二例会から十名の会員がその事業所等に設置したのが始まりで、次の例会で回収、また十名の会員に持って行ってもらって今も続けています。またゾーン四クラブ（砺波、となみセントラル、となみ東、当クラブ）のゴルフ大会では募金箱を各ショートホールに設

置したり、会員の中には他の事業所に頼みに行ってきたり、あるライオンズレディは各種団体にアイバンクのPRと募金箱を頼んで下さったり。第一回献眼運動富山県大会では県民の啓発普及とそして富山県アイバンクを円滑に運営することでありますので、入場券を会員以外の人達にお願いし、当クラブバスを用意して大会に参加して頂きました。また三月二日にチャリテイバザーを行うのですが、これもアイバンクの寄付金が目的です。それとは別に会場では募金箱を設置してアイバンクの啓発運動を兼ねて募金をするつもりです。色々工夫している次第です。これも全員の方々の理解と行動があればこそです。近い将来、献眼、浄財、そして運営と円滑になるよう、富山県民で、県下の事業所等で支えて頂けるよう微力ながら献眼登録、募金活動と頑張りたいと思います。

献眼登録の手続き



アイバンクQ&A

献眼登録したいのですが？

眼の見えない人は誰でも見えるようになりますか？

☆富山県アイバンクへ
お電話下さい。

こんなに
身近な所
で!!

かんたんに
申し込める
の♡



富山県アイバンク
TEL0764-34-5710
FAX0764-36-0146

角膜の病気や
傷で失明された方に
役立てるんだ!!



ひかりを
とりもどせる
のね!

献眼したいのですが？

どんな眼でもできますか？

すぐに電話
してね。



深夜でもいいんだ。

♡ 日頃から話し合っておくこ
とも大事です。

献眼の連絡は富山医科薬科大学眼科
TEL (0764) 34-2281
(「献眼です」とおっしゃって下さい)

健康な角膜なら、
誰でも提供者に
なれるぞ!!!

遠視だって
近視だって
OKさ。

年齢制限も
ないんだ。



平成7年度事業報告

1月9日..平成6年度事業並びに
決算報告の監査

19日..常務理事会開催

24日..理事会開催

31日..総務、財務合同委員会
開催

2月9日..評議員会開催

14、15日..東海北陸ブロック連絡
協議会開催(於 岐阜)

20日..黒部ライオンズクラブ
例会出席

23日..厚生大臣感謝状伝達式
(於 県庁厚生部長室)

3月9日..広報委員会開催

4月3日..総務委員会開催
..理事会開催

18日..常務理事会開催
..総務委員会開催

27日..第1回アイバンク理事
とLC役員との合同会
議

5月18日..常務理事会開催

21日..ライオンズクラブ地区
年次大会出席(於 高
岡)

26日..第2回アイバンク理事
とLC役員との合同会

議
31日..常務理事会開催

6月3日..県民大会実行委員会開
催

8日..評議員会開催

26日..常務理事会開催

7月12日..理事会開催(平成7年
度中間決算報告)

14日..全国アイバンク連絡協
議会及び東海北陸ブロ
ック連絡協議会(於東
京)

17日..ライオンズクラブEB
K研修会出席(献眼登
録普及啓発を行った。)

18日..県民大会後援依頼のた
め厚生省へ行った。

27日..評議員会開催

28日..厚生大臣感謝状伝達式
(於県庁厚生部長室)

8月1日..ライオンズクラブ1R
1Zガバナー公式訪問
(アイバンクへ賛助金
を頂く。)

2日..ライオンズクラブ1R
2Zガバナー公式訪問
(アイバンクへ賛助金
を頂く。)

17日..ライオンズクラブ2R

2日..ライオンズクラブ1R
2Zガバナー公式訪問
(アイバンクへ賛助金
を頂く。)

2Zガバナー公式訪問
(アイバンクへ賛助金
を頂く。)

18日..ライオンズクラブ2R
1Zガバナー公式訪問
(アイバンクへ賛助金
を頂く。)

23日..ライオンズクラブ2R
3Zガバナー公式訪問
(アイバンクへ賛助金
を頂く。)

24日..ライオンズクラブ1R
3Zガバナー公式訪問
(アイバンクへ賛助金
を頂く。)

9月2日..高岡古城ライオンズク
ラブ例会出席(角膜移
植の現況について講演)

6日..広報委員会開催

10日..献眼五〇〇霊記念慰霊
祭出席(小山ライオン
ズクラブ主催 於 静
岡)

11日..富山県民大会実行委員
会開催

20日..理事会開催

10月2日..ライオンズクラブ三三
四複合地区4献シンポ
ジューム出席(於 名

11月22日..ライオンズクラブ1R
2Zガバナー諮問委員
会出席(賛助金を頂
く。)

24日..第1回国際アイバンク
シンポジウム出席
(於 千葉)

12月16日..定例理事会開催

12月16日..定例理事会開催

古屋)

10月4日..KNBラジオ「情報ナ
ビゲーター」出演献眼
登録普及をお願いし
た。

8日..第1回献眼運動富山県
民大会開催(於 富山
県民会館)

16日..富山神通・富山西ライ
オネスクラブ例会出席
(於 高志会館)

21日..魚津商工フェアにお
いて献眼登録普及活動
(於 新川文化ホール)

22日..上市ライオンズクラブ
30周年記念式典(アイ
バンクへ賛助金を頂
く。)

11月22日..ライオンズクラブ1R
2Zガバナー諮問委員
会出席(賛助金を頂
く。)

24日..第1回国際アイバンク
シンポジウム出席
(於 千葉)

..角膜センターアイバン
ク設立記念パーティー
出席(於 千葉)

12月16日..定例理事会開催

12月16日..定例理事会開催

12月16日..定例理事会開催

12月16日..定例理事会開催

12月16日..定例理事会開催

12月16日..定例理事会開催

平成7年度決算

第1回献眼運動富山県民大会特別会計決算書

収入の部

単位：円

科	決算額
一般会計より繰入	3,200,000
広告掲載費	3,278,558
雑収入	230,837
特別会計収入計	6,709,395

支出の部

単位：円

科	決算額
会場設営費	170,952
謝礼	767,900
会場設営費	3,042,883
記念品等	682,478
会議費	234,000
通信運搬費	114,200
旅費交通費	54,650
広告費	909,830
雑費	198,398
小計	6,175,291
一般会計へ戻入	534,104
特別会計支出計	6,709,395

一般会計

1. 収入の部

(単位：円)

科 目		予 算 額	決 算 額	増 減
項 目	節			
基本財産収入	拠出金	0	0	0
基本財産運用収入	基本財産利息収入	1,300,000	1,285,974	14,026
会費収入	賛助会費収入	2,000,000	2,275,000	-275,000
事業収入	幹旋手数料	1,200,000	1,140,000	60,000
補助金収入	富山県補助金	1,000,000	1,000,000	0
寄付金収入	L C奉仕銀行寄付金収入	4,600,000	4,600,000	0
	寄付金収入	4,500,000	4,251,052	248,948
	募金収入	3,200,000	3,255,184	-55,184
雑収入	受取利息	50,000	24,748	25,252
	その他の収入	30,000	26,690	3,310
	県民大会特別会計戻入	534,104	534,104	0
当期収入合計 (A)		18,414,104	18,392,752	21,352
前期繰越収支差額		3,971,669	3,971,669	0
収入合計 (B)		22,385,773	22,364,421	21,352

2. 支出の部

(単位：円)

科 目		予 算 額	決 算 額	増 減	
項 目	節				
事業費	募集登録費	旅費交通費	50,000	31,500	18,500
		事務消耗品費	200,000	127,728	72,272
		印刷製本費	500,000	450,880	49,120
		通信運搬費	300,000	248,330	51,670
		小計	1,050,000	858,438	191,562
	連絡調整費	諸謝礼	500,000	470,110	29,890
		旅費交通費	500,000	489,673	10,327
		印刷製本費	100,000	54,075	45,925
		事務消耗品費	300,000	228,550	71,450
		器具消耗費	500,000	357,759	142,241
		小計	1,900,000	1,600,167	299,833
	眼衛生思想普及啓発費	募金費	200,000	0	200,000
		印刷製本費	400,000	319,300	80,700
		事務消耗品費	100,000	7,275	92,725
		広報費	4,300,000	3,396,748	903,252
		県民大会特別会計繰入	3,200,000	3,200,000	0
		旅費交通費	50,000	0	50,000
		研究助成金	300,000	300,000	0
		小計	8,550,000	7,223,323	1,326,677
	その他	弔慰費	250,000	179,888	70,112
雑費		350,000	302,825	47,175	
小計		600,000	482,713	117,287	
計		12,100,000	10,164,641	1,935,359	
管理費	諸給与	給与手当	2,700,000	2,680,000	20,000
		福利厚生費	350,000	211,124	138,876
		小計	3,050,000	2,891,124	158,876
	会議費	理・評議員会他	600,000	524,463	75,537
		旅費交通費	300,000	249,700	50,300
		小計	900,000	774,163	125,837
	需要費	通信運搬費	600,000	566,550	33,450
		租税公課	110,000	80,000	30,000
		交際費	200,000	127,282	72,718
		事務消耗品費	50,000	23,595	26,405
貸借費		120,000	101,812	18,188	
雑費		100,000	23,943	76,057	
小計	1,180,000	923,182	256,818		
計		5,130,000	4,588,469	541,531	
総務費	固定資産取得支出	什器備品購入支出	450,000	420,137	29,863
		小計	450,000	420,137	29,863
	特定預金支出	基本財産積立預金	2,400,000	2,400,000	0
		退職給与引当預金	100,000	100,000	0
		減価償却引当預金	100,000	100,000	0
小計	2,600,000	2,600,000	0		
予備費	予備費	0	0	0	
計		3,050,000	3,020,137	29,863	
当期支出合計 (C)		20,280,000	17,773,247	2,506,753	
当期収支差額 (A)-(C)		-1,865,896	619,505	-2,485,401	
次期繰越収支差額 (B)-(C)		2,105,773	4,591,174	-2,485,401	

役員名簿

(平成8年3月現在)

役職	氏名	
理事長	井村東司三	井村医院 院長
常務理事	高田 真	阪神容器株式会社代表取締役会長
常務理事	大黒 幸雄	(株)MAC代表取締役
理事	金井 澄子	富山県善意銀行副理事長
理事	多田 秀一	多田眼科医院 院長
理事	寺崎 達二	(有)寺崎樹脂代表取締役
理事	山下 和夫	山産商会代表
理事	朝倉 悦子	富山県社会福祉協議会専務理事
理事	村 清	(有)海老亭代表取締役会長
理事	三觜 文雄	富山県厚生部長
理事	伊勢 豊彦	(株)セイアグリーシステム代表取締役
理事	藤沢 実	司法書士藤沢事務所
理事	早坂 征次	富山医科薬科大学眼科教授
理事	山本 修一	富山医科薬科大学眼科助教授
理事	中上 彬	前黒部市民病院院長
理事	下条 俊雄	(有)シンコー運輸倉庫代表取締役
理事	中西 清一	中西電気工業(株)代表取締役
理事	山口 重信	サンライズ(株)代表取締役会長
理事	片口 保一	片口眼科医院 院長
理事	広野 克	(株)広野代表取締役
理事	村上 明	(株)金栄代表取締役専務
監事	高瀬 清春	公認会計士高瀬清春事務所
監事	松岡 忠一	富山県医務課長

賛助会員ご加入のお願い

アイバンクは、角膜疾患によって眼の不自由な方のために献眼者の募集と移植希望者の募集等の事業を行っています。設立以来の献眼登録者は、平成8年4月現在で、約14,000名となっており、また、平成8年3月現在までに66名の方が移植手術を受け、視力を回復しております。『明日に明るい愛』を合言葉に一人でも多くの方に光のプレゼントができるよう努力しています。しかし、年間の事業の運営を円滑に行うには多額の資金が必要となり、この事業費は基本財産の運用収入のほか賛助会員会費、寄付金収入を主なる財源として充てております。皆様の格別のご理解ご協力をお願い申し上げます。

賛助会費

団体・法人会員	年会費	1口	10,000円
個人会員	年会費	1口	3,000円

賛助会員にご加入をお考えの方はアイバンク事務局へご連絡下さい。

〒930-01 富山市杉谷2630

財団法人富山県アイバンク事務局

TEL(0764)34-5710 FAX(0764)36-0146

編集 雑感

富山県アイバンク便り第三号を、お届けする運びに相成りました。編集員はアイバンク理事の内、広報委員会に属するメンバーです。日頃あまりお手伝いの少ない私が罰則でこの項を担当したようなわけです。

私も父親をこの五年前に亡くしましたが、それ以前から家族全員六名で登録をすませていたことでもあり、父の献眼に家族は云う迄もありませんが子供である私の兄弟や父の親類縁者良き理解もあり、献眼を済ませる事が出来ました。当時富山医薬大の眼科教授でアイバンク理事の窪田先生から父の献眼三日後に電話を頂き「山下さん二人の方が手術も成功して、もう町を歩いておられますよ」と報告を頂いた時、おやじも天国でよろ

こんでいるだろうかと、しみじみ感じたものでした。

その後もライオンズクラブの地区EBK委員などしていた縁で理事会の構成メンバーとして一人でも多くの人達に光をもどして頂くための活動に参加しているわけですが、とりわけ「アイバンクだより」は井村理事長の強い希望もあって年三回は発行してもらいたいとの事でもあり、編集するからには読んでもらえる紙面造りをめざして精を出す当然の任務に追われた第三号でした。

山下 和夫

◆広報委員

朝倉 悦子
伊勢 豊彦
金井 澄子
寺崎 達二
山下 和夫
山本 修一